



れきし みんぞく しりょうかん
宇美町立歴史民俗資料館

歴史に出てくる郷土の人物の働きや代表的な文化遺産について調べてみましょう。



れきし みんぞく しりょうかん
歴史民俗資料館には、米の形のついた土器が展示してあるよ。



9 宇美の歴史

宇美町には、国の特別史跡大野城跡や宇美八幡宮など全国的に有名な文化財や文化遺産が残っています。これらのものから当時の人々の願い、喜び、悩みを考え、人間の生き方を学ぶことができます。

身近なところに歴史があります。わたしたちの住んでいる郷土に目を向け、宇美町のよさをたくさん見つけましょう。

宇美町周辺から出土した石の道具



きゅうせつ き
旧石器時代の台形石器



さいせきじんかく
旧石器時代の細石刃核(石の道具)



いしさじ
縄文時代の石匙



せきぞく
縄文時代の石鏃(やじり)

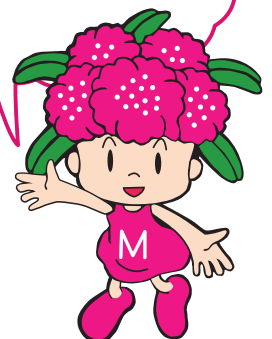
(1) 旧石器・縄文時代の宇美

旧石器時代の遺跡は、宇美小校区の宇美公園や浦尻遺跡で、黒曜石などで作った石槍や台形石器、ナイフ形石器が発見されています。これらの石器は、今から約1～2万年前の人々が動物の狩りをし、獲物を解体するのに使用していたものです。

縄文時代のものでは、浦尻遺跡や光正寺遺跡で、石鏃(やじり)や石匙(ナイフ)が発見されています。また、宇美小学校裏門近くの上角遺跡で、今から約3千年前の土器が出土しています。

1万年より前は、一般に氷河時代ともいいます。氷河時代は、現在より気温が数度低く、海の水が干上がり、九州から対馬までは、歩いて行くことができました。この時代に大陸や朝鮮半島から、わたしたちの先祖が渡ってきました。

1万年以上前には、どんな動物が生息していたのか調べてみましょう。





いしほうちよう
石包丁



石剣



ほうすいしゃ
紡錘車



せっか
石戈



いしおの
石斧



紡錘車を使って
糸をつむぐ人

やよい じ だい
(2) 弥生時代の宇美

石包丁の一部には、飯塚市の立岩遺跡で作られたものがあります。斧の中には、福岡市今宿の今山遺跡で作られたものがあります。この時代には、石包丁や石斧を作る工場のようなものがありました。

しゅうらく
① 弥生時代の集落

井野小校区の川原田・供田遺跡や宇美小校区の上角遺跡では、住居跡や高床式の建物跡、井戸などが発掘され、弥生時代の集落の様子を知ることができます。さらに、遺跡からは土器の他に、石剣、石戈、磨製石鏃などの武器や紡錘車、石斧、石包丁などの約2千年前の工具が出土しています。

武器は集落間の争いに用いられ、工具は機織や農耕などの生産活動に用いられていたと考えられます。

やよい じ だい
弥生時代には、どんな種類の土器が作られていたのか調べてみましょう。





弥生時代の丹塗りの土器



弥生時代の丹塗りの土器

②水田が広がる宇美

川原田・供田遺跡では、住居の床や集落を囲む大溝から、石包丁が出土しています。石包丁は、稲の穂を摘み取る時に使われた道具です。また、大溝からは、お祈りに使った丹塗りの土器や日常生活で使用した土器がたくさん出土しています。この土器の表面やそこには、もみ 糲の跡が残っているものがあり、大溝の外側では、米作りが行われていたことが分かります。

日本最古の水田は、福岡市博多区の板付遺跡や粕屋町の江辻遺跡にあります。

弥生時代は、前期・中期・後期の3つに時代区分されています。宇美町では、中期から後期の遺跡が確認されています。

丹塗り
土器を焼いた後、赤い顔料を塗ったものです。

常所駐東至北國百里官曰不彌國百里官曰多模
 母雖有二萬餘戶東行至不彌國百里官曰多模
 副曰卑收母雖有千餘家南至我馬國水行二十
 日官曰彌彌副曰彌彌那利可五萬餘戶南至我
 馬國女王之所都水行十日陸行一月官有伊
 支馬次曰彌馬并次曰彌馬獲支次曰奴往獲可
 七萬餘戶自女王國以其戶數道里可得略載
 其餘旁國遠絕不可得詳次有斯馬國次有巴百
 支國次有伊那國次有郡支國次有彌奴國次有
 好古都國次有不呼國次有奴奴國次有對蘇國

魏志倭人伝
 (宮内庁書陵部蔵紹熙本)



③ 邪馬台国と宇美 (弥生～古墳時代)

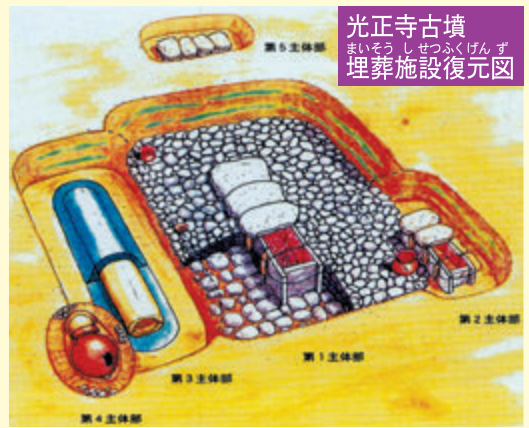
中国の歴史書で三国志(魏書・呉書・蜀書)のうち、「魏書・東夷伝・倭人条」を一般に「魏志倭人伝」といっています。約2千文字で、倭国(日本のこと)が紹介されています。

不彌国は、江戸時代から宇美といわれていましたが、近年、飯塚地域が不彌国と考える人もいます。しかし、光正寺古墳の発掘以来、福岡市東区の一部と糟屋地域一帯が不彌国と考える人が多くなりました。

今から約1800年前、日本は小さな国(今の郡ぐらいの大きさ)が各地にありました。そのうちの30か国あまりの国が、中国の古い書物「魏志倭人伝」に紹介されています。それらの国を治めていたのが「邪馬台国」で、その女王が「卑弥呼」です。「魏志倭人伝」には、邪馬台国に行く行程が記され、その中に「不彌国」という名前が記されています。この不彌国が宇美ではないかといわれています。



光正寺古墳全景



光正寺古墳
まいそうしせつふくげんず
埋葬施設復元図



こうしょうじ こふん
光正寺古墳出土土器



まがたま
勾玉



くだたま
管玉

ぜん ぼう こう えん ふん (3) 前方後円墳がつくられた宇美

こうしょうじ こふん ふ み こくおう はか ① 光正寺古墳は不彌国王の墓？

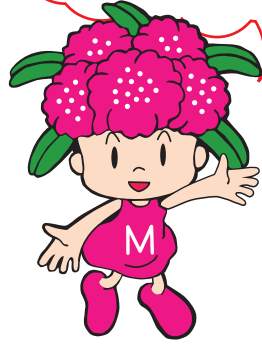
かす や ぐん ない げん ざい き
糟屋郡内には、現在、5基の前方後円墳があります。そのうち、3基が宇美町にあります。その中で、3世紀後半につくられた最古級の前方後円墳は、かす や まち と ばら おう つか 柏屋町の戸原王塚古墳と宇美町の光正寺古墳です。この二つの古墳がつくられた年代は、魏志倭人伝に記されている邪馬台国があった時代と同時期で、光正寺古墳は糟屋地区最大の古墳であることから、ふ み こくおう はか 不彌国王の墓ではないかと考えられています。

こうしょうじ こふん
光正寺古墳の大きさを調べてみましょう。光正寺古墳公園や宇美町立歴史民俗資料館に説明文があります。



ぜん ぼう こう えん ふん こふん
前方後円墳は、古墳時代の各時期ごとに、その地域内でつくられた古墳の数%しかありません。このため、前方後円墳は、地域の権力者の墓と考えられ、他の古墳と区別されています。

宇美町立歴史民俗資料館
には、観音浦古墳群から出土した遺物が展示されています。資料館に行って、調べてみましょう。



観音浦古墳群
石室全景



観音浦古墳群出土
装身具



観音浦古墳群・岩長浦窯跡

磐井は、筑紫君とって、北九州から火国（現在の熊本）、豊国（現在の大分）にかけての広い地域を支配していた豪族です。

4世紀から7世紀中ごろにかけて、奈良県南部の大和地方の豪族が大王のもとで連合し、各地の豪族をしたがえて生まれた国が大和国家、その政府を大和朝廷といます。

屯倉
食料をためておく倉庫で、その土地全体のことを意味しています。食料を管理するために、役人や見張り役がいて、役所のような役目をしていました。

② 磐井の乱と宇美

今の福岡県八女市で大きな勢力を持っていた筑紫の君磐井は、527年に大和朝廷と戦をしました（磐井の乱）。戦に敗れた磐井は殺され、その子の葛子は、大和朝廷に糟屋屯倉を献上し、罪を逃れたと「日本書紀」に記されています。この「糟屋」という地名が私たちの住む糟屋のことです。糟屋屯倉ができた後、宇美や志免の丘陵に古墳がたくさんつくられるようになりました。その古墳群の一つが、井野小校区のひばりが丘にあった観音浦古墳群です。



トンボ形鞘金具(観音浦古墳群)



単鳳環式柄頭(湯湧古墳群)



金銅製の馬具(正籠3号墳)



装身具(正籠3号墳)

③有力者がいた宇美 (古墳時代後期)

古墳時代後期には、^{かん の うら こ ふん ぐん} 観音浦古墳群をはじめ、^{しやうごもり} 宇美小校区の正籠古墳群、^{ゆ わかし} 原田小校区の湯湧古墳群など、^{ぐんしゅうふん} 町内各地域に群集墳がつくられます。その中の^{さんらいかんしき えがしら} 観音浦古墳群からは「三累環式柄頭」や「^{さやかなぐ} トンボ形鞘金具」、^{たんほうかんしき えがしら} 湯湧古墳群では「^{そかんどうたち} 単鳳環式柄頭」、^{そうしよくたち} 正籠3号墳からは「^{こんどうせい ばぐ そうしんぐ} 素環頭大刀」などの^{そうしんぐ} 装飾大刀が、^{こんどうせい ばぐ} 金銅製の馬具や^{そうしんぐ} 装身具とともに出土しています。^{けんりよく しょうちよう} 装飾大刀は、^{しょうゆう} 当時の有力者が、^{しょうゆう} 権力の象徴として所有していたと考えられています。

^{しやうごもり} 正籠3号墳は、^{かんのうら} 宇美町で最後につくられた^{ぜんほうこうえんふん} 前方後円墳です。

トンボ形鞘金具は、^{かんのうら} 観音浦南19号墳から出土しました。これは、国内に^{るいれい} 類例がなく、とても^{めずら} 珍しいもので、^{しやうごもり} 宇美町指定文化財です。

この時代、今の宇美中学校校内及び周辺では、^{わかすぎやま} 若杉山周辺でとれる^{かっせき} 滑石を材料に、玉などの^{ふくそう} 装身具をつくる工場があり、^{おほ} 正籠3号墳などの^{おん} 副葬品として^{おん} 納められていたようです。

^{たち} 大刀と^{たち} 太刀
^{こうがく} 考古学では、^{なら} 奈良時代以前に作られた刀を「大刀」、^{なら} 奈良時代以降に作られた刀を「太刀」と表記します。



おおのじょうあとぞうちょうてんそせきぐん
大野城跡増長天礎石群



ひゃっけんいしがき
大野城跡百間石垣



(写真・図)
九州歴史資料館提供



じょうもん
大野城跡城門礎石

(4) 朝鮮との交流が深かった宇美

あすか なら じだい
(飛鳥・奈良時代)

① 日本最古の山城「大野城」が築かれた宇美

くだらおうと
660年に百済王は捕
らえられ、百済は滅亡し
ました。663年に軍を
送ったのは、百済復興の
ためでした。

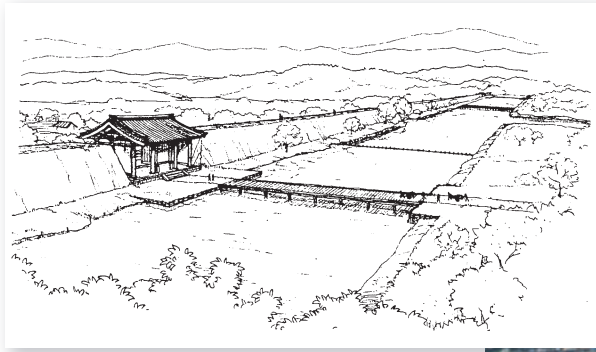


さいこ やまじろ おおのじょう きず
660年、朝鮮半島にあった百済は、
ちようせん ほんとう くだら
中国を統一した唐と新羅の連合軍に攻
められ、日本の大和朝廷に助けを求め
ました。

なかのおおえの おうじ てんじてんのう
663年、中大兄皇子(天智天皇)は、
2万の大軍を送りましたが、朝鮮半島
はくすきのえ たたか
西側中部にある白村江の戦いで、唐・
やぶ
新羅連合軍に敗れました。そこで、大
だざいふ
和朝廷は、大宰府などを守るため、朝
きず
鮮式山城「大野城」を築きました。

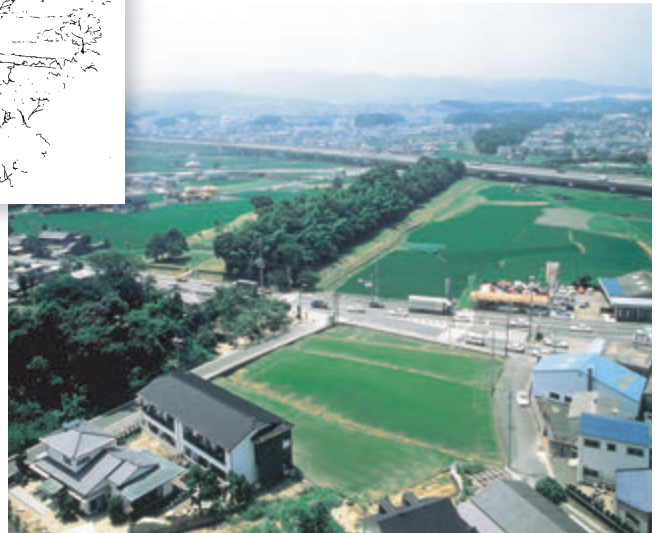
だざいふ だざいふ
太宰府と大宰府

現在の地名は「太宰府」、
歴史的地名は「大宰府」が使
われています。



みずき ふくげんず
水城の復元図

(博多湾側に深さ4m,
幅60mの堀が1.2km続いている)



だいほうえいせん
大宰府を守る
大防衛線として築かれた水城
(国特別史跡)

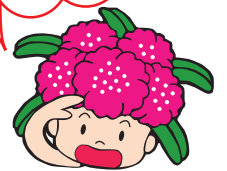
(図・写真／九州歴史資料館提供)

② 億礼福留と四比福夫と宇美

大和朝廷は664年に、大宰府を守るため、高さ9m、長さ1.2kmの「水城」とよばれる堤防を築きました。さらに、665年には、大宰府背後の山に「大野城」と、南の基山に「基肆城」を、百済から亡命してきた貴族の億礼福留と四比福夫に命じて築城させたことが「日本書紀」に記されています。

原田小校区の寺浦地区では、大野城の建物に使用されたと考えられる瓦を焼いた窯跡が発見されています。

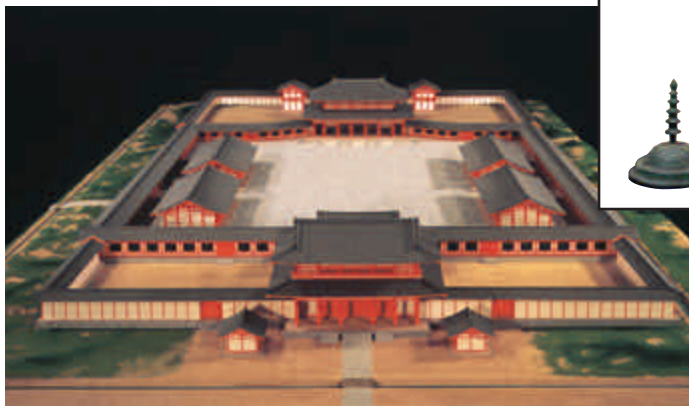
四王寺山に登って、1350年前の人々が築いた大野城について調べてみましょう。



九州・中国地方には、朝鮮式山城の他に神籠石系山城が多数築城されています。

億礼福留・四比福夫は、百済が滅亡したときの都であった扶餘の出身と考えられ、宇美町では昭和61年から、扶餘郡教育支援庁と交流を行っています。

だざいふ やくしよ ふくげん もけい
大宰府の役所の復元模型



四王寺から出土した
経筒(宇美八幡宮蔵)

(写真 / 九州歴史資料館提供)

おおのじょう してんのうじ こんりゅう
③大野城に四天王寺を建立
(奈良時代8世紀)

おおのじょう きず
大野城が築かれてから100年ほどた
ったころ、新羅がよからぬことを祈っ
ているといううわさが伝わり、774年
に、大野城内に四天王寺を建立し、国
の平和や安全を祈りました。その後、
大野城は、城と宗教の場としても機能
するようになりました。

大野城が築かれた大城
山に四天王寺が建立され
たことから、後に、この
山を四王寺山というよう
になりました。



へいあん まっぽうしそ
平安時代の終わりごろ、末法思想
(お釈迦さまの教えが減びるとい
う考 え)が広まると、四王寺山にも盛んに
経塚がつくられるようになりました。
この経塚から出土した経筒は、現在、
国の重要文化財に指定されています。

きょうづか きょうづつ
経塚と経筒

経塚はお経を地面に埋めて
いる場所で、経筒はお経を入
れておく筒のことです。



おうじん たんじょう せき ひ
応神天皇誕生の石碑



子安の石



国の天然記念物の大樟



けいだい
宇美八幡宮境内古図

(江戸時代製作:宇美八幡宮蔵)

④ 宇美八幡宮の由来

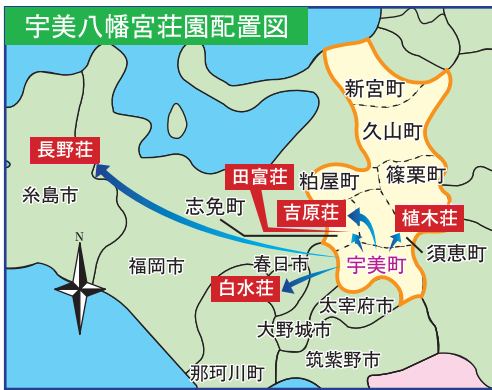
宇美八幡宮には、362年神功皇后が朝鮮から戻り、神功皇后の子どもおうじん 應神天皇が生まれたことで、宇美と名づけられたという伝説が伝わっています。

このことは、奈良時代の古事記(712年)や日本書紀(720年)に書き残されています。

今も安産の神様として各地からお参りに来る人が多く、大きな樟の木の森が千年以上の昔を語りかけてきます。

神功皇后の伝説は、宇美町を中心に福岡市の香椎や志賀島などにたくさん残っています。家族と一緒に調べてみましょう。

古事記は、現存する日本最古の歴史書で、稗田阿礼が暗誦していた神話や伝承を太安方呂が聞き取って記録したものです。



宇美八幡宮

お年寄りの方に、宇美町の古い地名について聞いてみましょう。



荘園というのは8～15・16世紀にかけて、藤原氏をはじめとする貴族や大社・寺が各地にもうけた私有地のことです。

はちまんぐう しょうえん
(5) 宇美八幡宮と荘園
 へいあんじだい
(平安時代)

宇美町には、「彼岸田」や「位田」など平安時代の荘園に由来する地名が残っています。荘園から取れた米などは、税として納めなくてもよかったです。

宇美八幡宮が持っていた荘園は、宇美町のほかに、須恵町の「植木荘」、志免町の「田富荘」「吉原荘」、春日市「白水荘」、糸島市「長野荘」の6カ所です。

このことから、宇美八幡宮が強い力を持っていたことが分かります。



ふくおかし はこざきはちまングう
福岡市の宮崎八幡宮



もう こしゅうらい えことば たけざきすえながふんとう
蒙古襲来絵詞(竹崎季長奮闘の図：宮崎宮蔵)

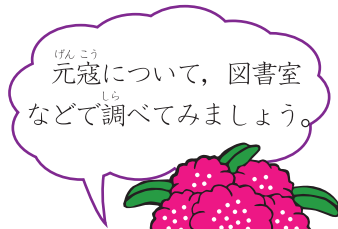
げんぐん せ
(6) 元軍が攻めてきた時の宇美
かまくら じ だい せい き
(鎌倉時代13世紀)

げん だいてい こく
1274年、元という大帝国が中国・
ちやうせん せいふく たいぐん
朝鮮を征服して4万の大軍で日本に攻
めてくる元寇という大事件が起こりま
した。博多の浜は、おびただしい軍勢
であふれあちこちに火の手が上がり、
はこざきはちまングう
宮崎八幡宮のお宮もあやうくなりました。

はこざき ごしんたい しゅぬ
箱崎の人たちは、御神体を朱塗りの
からびつ
唐櫃にかついで宇美八幡宮まできたの
ですが、みんな逃げていたので、三郡
ざん ふもと しょうじ だけ ごくらくじ ひなん
山の麓の障子岳の極楽寺に一時避難し
ました。



伝 極楽寺跡
ほうかん
(宮崎八幡宮奉還の地)



げんこう
元寇について、図書室
などで調べてみましょう。

ごしんたい
御神体とは、神様をあ
らわす神聖な物のことで、
古来より鏡・剣・玉・鉾
などが用いられてきたん
だよ。





ちくぜんのかくにぞくふ ど き ふ るく
「筑前国続風土記附録」
しよさい わかすまた をくらす
所載の若杉太祖宮図
す え まちれきし しりょうかんていきわう
(須恵町歴史資料館提供)



高鳥居城

筑前国のある武士の館(一遍上人絵伝)



上角遺跡(宇美小学校付近)

やまじろ きず
(7) 中世山城が築かれた宇美
むろまち せんごくじだい せい き
(室町・戦国時代 14~15 世紀)

たけじょうさんちやう
宇美町から遠足にも行く岳城山頂が、
たかとり いじやう しるあと
高鳥居城の城跡です。

しゅ ご
室町時代、高鳥居城は山口県の守護
だいみやうおうち し ちくぜんしゅ ご だいすぎし きよじやう
大名大内氏の筑前守護代杉氏の居城で、
ぶ し はか た
山の上から武士が、町人の博多の町を
み は
見張っていたことになります。それほど町人が力をもっていたことが分かります。

せん そう
博多は、当時、戦争ばかりする武士
せい じ きら
の政治を嫌って、町人が自分たちで政
ぼう えき さか
治をし、貿易も盛んな町でした。

ふくおか し ほんぶつかん
福岡市の博物館に行っ
て、博多の町割りや山笠
まち わ やまかさ
について調べてみましょう。
しら
コンピュータで検索し
たり、学芸員の方にたず
ねたりするといいよ。



いの やま からやま とっ きん
井野山(唐山)や頭巾
山の山頂にも、戦国時代
の山城があったんだって。





四王寺山：岩屋城本丸跡



四王寺山：岩屋城跡



岩屋城の戦い：戦死者供養塔
(炭焼清水寺)

てん か どう いつ たか はししょううん
(8) 天下統一と高橋紹運
 あづち もも やま し だい せい き
(安土・桃山時代 16世紀)

豊臣秀吉の全国統一をはばもうと鹿
 児島の島津氏が5万の大軍で北上して
 きました(1586年)。当時大友宗麟
 の家来で宝満城と四王寺の岩屋城に城
 をかまえていた高橋紹運以下763名は、
 5万の大軍を相手に13日間戦い、全員
 が岩屋城で戦死しました。この翌年、
 秀吉の軍が九州を統一し、全国統一の
 足ががりとなりました。炭焼の清水寺
 に、戦死者を供養する石碑があります。

豊臣秀吉の全国統一に
 ついて、調べてみましょ
 う。また、岩屋城の戦い
 について、太宰府の西正
 寺や炭焼の清水寺に行っ
 て調べてみましょう。



「大宰府戦国史」によ
 ると1586年3月に大友、
 高橋、立花の三家は秀吉
 の家来となったそうよ。





くろだながまさがそう
黒田長政画像

長政は32歳のときに福岡藩主となりました。
この画像は長政が一の谷の兜をかぶり、秀吉から贈られた白熊の采配を手にしているところです。
(福岡市博物館提供)



えどじだい (9) 江戸時代の宇美

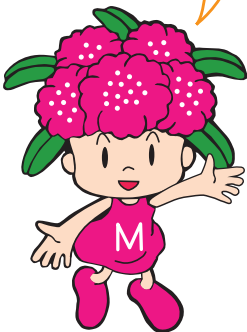
① 福岡藩の大名と農民 (17世紀)

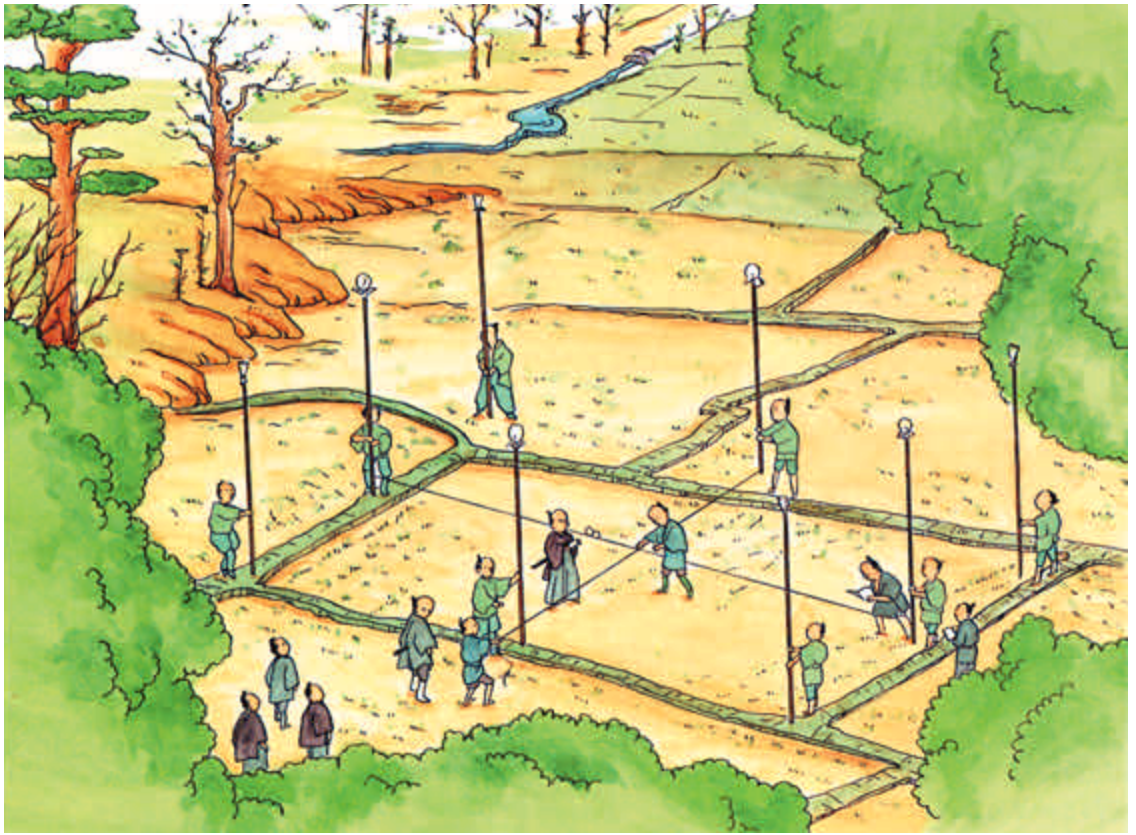
徳川家康は江戸に幕府を開き、福岡藩主として黒田氏が入国しました。

(1600年)

初代の殿様、黒田長政は、香椎にあった名島城の石垣などを使って、福岡城をつくらせました。長政は1612年に、7カ条からなる、百姓、給人、代官、年貢納、田畠耕作などのきまり『制札』を出しました。

260年間続いた江戸時代の徳川氏や黒田氏について調べてみましょう。また、幕府が出した「慶安のおふれ書き」と農民の生活について考えてみましょう。





とくがわぼくふけんちようりやく
 検地の図(「徳川幕府県治要略より」)

② 検地と宇美 (17世紀)

黒田長政は、1602年、100人以上の武士を村々に派遣して検地をし、田畑の持ち主・広さ・取れ高を調査しました。糟屋郡の検地は、2年かかって完成しています。これは、6尺5寸の間真四角で一步、300歩を一反としたことと、米をはかる枡を京枡にそろえることで、検地役人と庄屋や地主との話し合いが長引いたためと考えられます。

農民から年貢を取り立てるため、田畑の面積や収穫高を調べることを検地と言うのよ。
 全国的に厳しく行われたのは太閤検地が初めてで、江戸幕府に引き継がれたんだって。





やくしどう えきじんじや
薬師堂がある疫神社



ほうえいじぞう
井野本村の宝永地蔵

みちるべ せき ひ せき
宇美の道標・石碑・石
仏などの場所やいわれに
ついて調べてみましょう。



いっしょ
お家の人と一緒に調べ
てみよう。



③ 井野本村の宝永地蔵

井野本村に薬師堂があります。森の中
の苔むした石段の中ほどの右側に古
びた地蔵菩薩の石仏が建っています。
その石仏の左下に「宝永七年」(1714
年)の文字が読み取れます。宇美町の
石仏の中で年号が分かる最古の石仏です。

これは、1710年(宝永3年)に、
筑前地方は大洪水で田畑が流され、年
貢を納めなくてもよいとされるほどの
被害者が出たことを供養して建てられ
たのです。



すみやき きよ みずでら ほひょう
炭焼清水寺の墓標

だい き きん ほひょう せい き
④大飢饉と宇美の墓標 (18世紀)

すみやき うちの がわ じんざいばし
炭焼の内野川にかかる神在橋のたもとに清水寺があり、竹藪の中に3つの墓標がひっそりとたっています。

このうちの1つに「享保十八年」
「五月三日」「法名^{ほうみょう}飯善恵^{せんえ}□□□」の文字があります。この享保18年の前の年から福岡藩は大飢饉で30万人のうち10万人の人がなくなりました(1733年)。

き きん はか
飢饉で死んだ人の墓かもしれません。

しめまちべふ がしせいれいく
志免町別府の「餓死精霊供養塔」や須恵町乙植木区林松寺、大野城市乙金の「枯骨の塔」、福岡市東中州の「飢人地藏尊」など、享保17年の大飢饉を伝えるものがあります。



宇美町障子岳ざいしゅう採集の須恵焼



皿山陶器所之図筑前国風土記付録

⑤ 障子岳しょうじだけの須恵焼窯すえやきがま (18世紀せいぎ)

須恵焼すえやきは、江戸時代半ば頃えどじだいなかころ、進藤安平しんどうあんが石炭掘りの穴ほの中で焼き物の土あなに使える白土しらつち（陶土とうど）を発見はっけんし、福岡藩ふくおかはんから許可きょかをもらって始めた焼き窯がまです。この須恵焼すえやきは、皿山焼さらやまやきとも言われ、約150年間やく続きました。

江戸時代は、須恵の皿山以外では焼くことが許ゆるされていませんでした。しかし、明治以降めいじいこうは宇美町障子岳しょうじだけでも須恵焼が焼かれるようになりました。

この須恵焼は、秀吉ひでよしの朝鮮出兵ちょうせんしゅつべいのときに朝鮮から連れてこられた陶工とうこうの技術ぎじゆつを学んだ焼き物だよ。弥生時代やよいじだいの須恵器すえきとはちがうだよ。



昔の酒づくり絵図

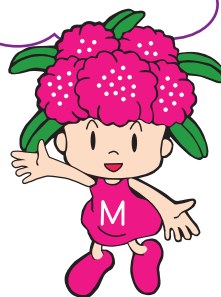


せいしゅ ばんだい しゅぞう ていぎょう
清酒「萬代」(小林酒造本店提供)

⑥宇美村の作五郎 (18世紀)

初代作五郎は1793年(寛政5年),
酒屋を開業しました。その6年後の
24歳のとき, 福岡藩から, となり村
の田富村の庄屋を務めるようにと言わ
れました。初代作五郎は, 災害救助準
備金を寄附したり糟屋郡の農政整理に
協力したりして, 村人を愛し, 特にほ
かから移住した「入百姓」に世話の限
りをつくしたことで黒田の殿様からほ
うびをもらいました。

江戸時代の農民の暮らし
について調べてみましょう。



この酒屋が今の
小林酒造本店と関
係があるんだよ。





馬場区，小林家の庭に残る
「ふたまたせばし」 標石

昭和48年水害でも宇美町は大きな被害を受けました。これは，その被害から立ち上がった記念碑です。

(内野谷)



⑦橋の架け換え工事に尽くした
作五郎 (19世紀)

図書室に行って，交通の発達はつたつの歴史れきしについて調べてみましょう。



本を探す3つのポイント

- 目録で探す。
- コンピュータで探す。
- 分類表をもとに探す。

1828年 (文政11年) 6月からの大洪水だいこうずい，8月の大雨や大風で，博多はかたに行く時に通る大事な二又瀬橋ふたまたせばしやほかの土橋どばしも流されてしまいました。

流されるたびに，宇美しゅうやの庄屋作五郎は自分のお金を出して，橋しゅうりを修理したり架け換えたりしました。それで，宇美村はもちろん，志免村しめむらの人々は博多まで安心して行き来できるようになり，大變助たいへんかりました。



はるだ そくりょう
原田付近の測量想像図



いのうただたか
伊能忠敬の画像



測角儀



里程車



そうかんぎ
象眼儀

(写真・画像 / 佐原市教育委員会提供)

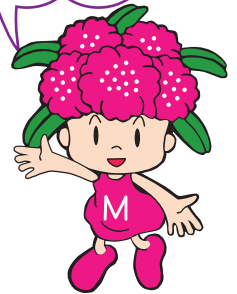
⑧伊能忠敬の宇美測量 (19世紀)

せいかく さいしょ かんせい
正確な日本地図を最初に完成させた
伊能忠敬は、もちろん、宇美村にも実
際に来て、歩いて調べています。

だざいふ
1812年9月27日、太宰府を出発
した一行7名、さんじょう ただごえとうげ
三条から只越峠、そして
て宇美に入りました。只越峠から
はるだ ばし ど ばし わた はちまんぐう
原田橋 (土橋) を渡り、宇美八幡宮ま
でが 1里33町あったと記録していま
す。

たんじょうじ
忠敬は、宇美八幡宮にあった誕生寺
でお昼の休憩をしています。

いのうただたか
伊能忠敬について、図
書室などで調べてみま
しょう。



り
1里33町は今の道のりで
やく
約7.5kmだそうです。
1町は約109m、1里は約
3927mです。

しち きょう みやこ お
七 卿 都 落 ち



太宰府に着いた時は、5名の公家でしたから「五卿都落ち」とも言われています。(太宰府天満宮蔵)

幕府を倒そうとした
人々について調べてみよう。



太宰府にいた三条実美
のもとに、西郷隆盛や高
杉晋作たちがたずねて来
たんだって。



めいじ いしん
(10) 明治維新と宇美

しちきょうみやこお だざいふ
①七卿都落ちと太宰府

1853年（嘉永6年），ペリーが黒船4隻で日本に来てから、日本中が鎖国か開国かで意見が分かれて幕府を倒そうと考える武士や公家などが多くなりました。

幕府は、反対する公家たちを取り締まりました。このため、三条実美ら7名は京都から太宰府に逃れてきました。これを「七卿都落ち」といいます。



明治時代の酒屋「萬代」



竹亭跡付近にある三条実美などが
詠んだ和歌が彫られた石碑



通称「萬代山」の
竹林にあった「竹亭」

② 三条実美と宇美 (1865年)

宇美川のそばの竹林の中に、宇美の
大庄屋小林虎太によって建てられた茶
室「竹亭」がありました。三条実美は、
なんと11回も馬で太宰府から宇美の
「竹亭」に来ているのです。

ここで「早見川」という酒をともに
くみかわし、虎太は「早見川」をおり
こんだ今様をうたい、幕府を倒す話を
していたと考えられます。新しい時代の
幕開けです。

てっ きん
鉄筋校舎になる前の宇美小学校（昭和25年：児童数1,080人）



宇美八幡宮境内の宇美小学校玄関前
卒業写真（明治32年：児童数205人）



現在の場所の宇美小学校
（明治38年：児童数357人）



昔の宇美小学校運動会
（大正14年：児童数659人）

むかし
昔の学校のようにと今の
学校のようにとの違いなど
についてお年寄りの方に聞
いて調べてみましょう。



昔は、習字と読み
方、算術、作文の4
きょうか
教科だったのね。



③宇美小学校ができる（1872年）

めいじ せいふ
明治新政府は、1872年（明治5年）、
全国に学校をつくるようにしました。

宇美町では、1873年（明治6年）
4月18日に民家を借りて、授業が行
われしました。これが、宇美小学校の始
まりです。1874年（明治7年）には
児童87人と1人の先生、明治8年
には、児童196人と3人の先生となり
ました。そこで、1876年（明治9年）
に宇美八幡宮の境内に初めて校舎が建
てられました。



けいだいず
宇美八幡宮境内図

④ 明治維新と神仏分離令 (1886年)

1886年 (明治元年) 王政復古のかけ声とともに明治新政府は、神社にある仏くさいものは棄てたり、壊したりしてしまうように、全国に命令を出しました。(神仏分離令)

このため、太宰府天満宮にあった仁王門や仁王様は壊され、伊能忠敬らが休憩した宇美八幡宮の誕生寺も壊されました。薬師如来像や弘法大師座像などは新原村に運ばれました。

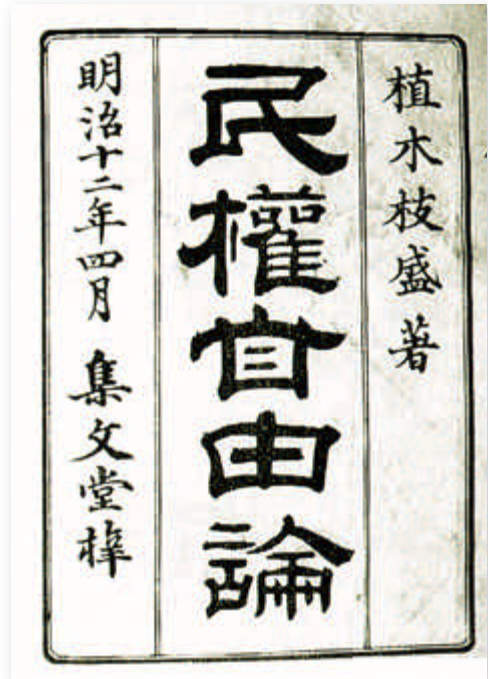
王政復古とは、朝廷が発表した宣言のことです。摂政・関白と江戸幕府の廃止、総裁・議定・参与の三職の設置などが決められたそうだよ。



ちく ぜんきょうあい かい かい せつ けん ぱく しょ
筑前共愛会の国会開設建白書

筑前國糟屋郡貳拾五箇村人民總代委員		
糟屋郡古賀村	三	輪 善 吉
糟屋郡蓮内村	安	武 幸次郎
糟屋郡内橋村	中	村 三 郎

筑前共愛会
「国会開設二付建言書」の署名の一部



うえき えもり
植木枝盛が福岡で書いて
福岡の印刷所ですした本



自由民権運動について調べてみましょう。

自由民権とは、国民には、参政権や自治権、言論の自由があるという考え方なんだよ。

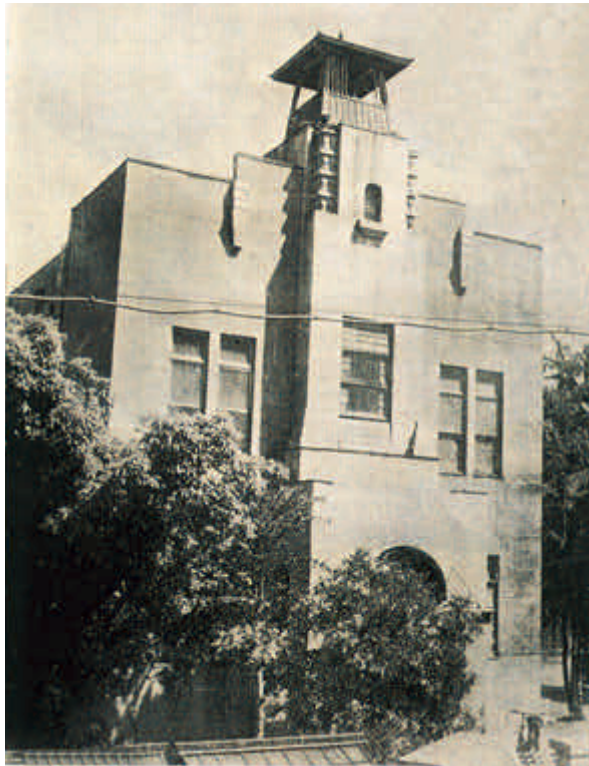


⑤ 自由民権運動と宇美 (1880年)

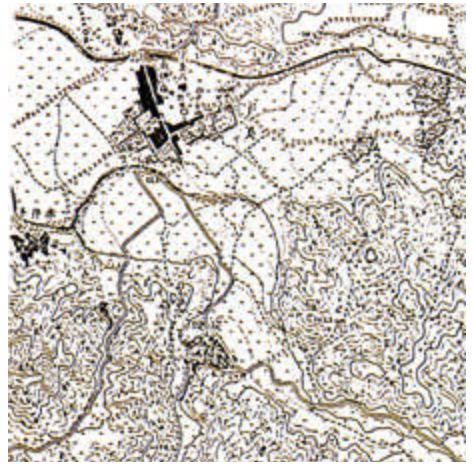
明治新政府が一部の人們で政治を行っていたので、全国各地で「憲法をつくれ」「議を開け」という自由民権の声が高まりました。

福岡でも「筑前共愛会」が結成され、国会開設・条約改正の建白書を新政府に出しました。(1880年)

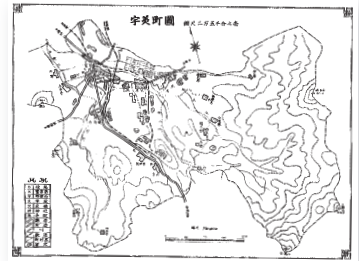
また、憲法草案もつくられました。この中には、糟屋郡代表者3人の名前もあります。



むかし やくばちょうしゃ
昔の宇美町役場庁舎



明治33年当時の宇美中心部



昭和25年当時の宇美町

⑥新しい宇美村誕生 (1889年)

1875年(明治8年), 障子岳村が
宇美村と合併し, 四王寺村, 井野村,
炭焼村, 宇美村の4か村になりました。

しかし, 小さな村のままでは, 財政
が苦しいため, 1889年(明治22年)
一つの村になることが決まり, 新しい
宇美村が誕生しました。

そして, 宇美村庁舎が宇美八幡宮の
そばに建てられました。それまでは村
議会などの話し合いは, 宇美小学校で
行われていました。

宇美町の移り変わり
を役場に行って調べて
みましょう。



1920年(大正9年)
に宇美村が宇美町にな
ったのよ。



しょうわ
(11) 昭和のころの宇美町

①石炭でうるおった宇美町の様子



三菱勝田炭鉱 大運動会(昭和13年)

原田小学校は今の場所と変わって
いません。割烹着かっぽしを着たご婦人たちが
準備運動じゅんびをしています。



千日座映画館(昭和30年代)

現在のJR宇美駅前げんざい、上宇美商店
街へいけんにありました。昭和40年頃に閉館
しました。



吉ノ浦炭鉱の山の神の祭り(昭和30年代)

現在の原田小学校区ふくはくかまくら、福博鎌倉区
の様子です。



道路の様子【宮前通り】(昭和30年代)

宇美八幡宮前の道の様子です。車
や家の様子が現在とは違ちがいます。路
線せんバスも走っていました。



宇美駅の様子

石炭さかで栄えた宇美町には、香椎線と
勝田線かつたがありました。昭和30年代頃
に石炭産業は衰え、石炭を運んだ勝田
線おどろは、昭和60年に廃線はいせんとなりました。



宇美町は、昭和30年代頃
まで石炭産業を中心に栄えて
いたんだね。

炭鉱たんこうの様子は、「石炭でにぎ
わった宇美町」(91ページ)
に詳しく書いているよ。



う つ でんとうぶんか
②受け継がれる伝統文化

宇美八幡宮の放生会



昭和30年代



現在

宇美神楽



昭和30年代



現在

宇美町では、^{きちょう}貴重な^{でんとうぶんか}伝統文化が^{ひとびと}町の人々によって
今も大切に^{う つ}受け継がれています。

なかでも、毎年4月15日と10月15日に^{はちまん}宇美八幡
^{ぐうかぐらでん}宮神楽殿で行われている^{うみかぐら}宇美神楽は、昭和48年に^{ふく}福
^{おかけん}岡県の^{むけいみんぞくぶんかざい}無形民俗文化財（^{げいのう}芸能）の^{してい}指定を受けており、
^{じゅうよう}福岡県内でも重要な文化財です。

また、^{ほうじょうや}宇美八幡宮秋の大祭である^{ほうじょうや}放生会は、毎年
10月に行われ、^{かんしゃ}生き物に^{かさ}感謝の気持ちを捧げるお祭
りとして今も行われており、町内外を問わず多くの
^{さんばいしゃ}参拝者が^{おとず}訪れ、^{にぎ}賑わっています。

れき し ねんぴょう
宇美町の歴史年表





時代	西 曆	日本・宇美町のおもなできごと
旧石器	紀元前2万年	宇美町に人が住むようになる（浦尻遺跡）
	紀元前8千年	戸原遺跡（粕屋町）
縄文	中期	江辻遺跡（粕屋町）
	後期	上角遺跡（宇美町）
	晩期	夜臼貝塚（新宮町）
弥生	紀元前3百年	農耕が始まる（福岡市 板付遺跡・粕屋町 江辻遺跡） 北部九州地方に甕棺が盛んになる
	57年	奴国王，漢の光武帝より金印を受ける 青銅器，鉄器製作が盛んになる 宇美川流域に弥生時代の集落がつくられ始める 川原田・供田遺跡 上角遺跡 表田・世利口遺跡
		吉野ヶ里遺跡（佐賀県） 卑弥呼，邪馬台国女王となる
	248年	平塚川添遺跡（甘木市） 卑弥呼，没す 巻与，邪馬台国女王となる
古墳	200年代後半	光正寺古墳が築造される（糟屋郡内最大の前方後円墳）



川原田・供田遺跡の竪穴住居跡



光正寺古墳

古墳	362年	<p>応神天皇，宇美の地で生まれる (古事記・日本書紀による)</p>	
	<p>七夕池古墳，神領・浦尻古墳群が 築造される</p> <p>527年 磐井の反乱 528年 磐井の子，葛子が粕屋の屯倉を朝廷に献上</p> <p>宇美中学校遺跡(古墳時代の集落遺跡) 正籠古墳群3号墳が築造される（前方後円墳） 観音浦古墳群が築造される 湯湧古墳群が築造される ウソフキ古墳群が築造される</p>		
飛鳥	645年	大化の改新	
	663年	白村江の戦いで，日本軍が 唐・新羅連合軍に敗れる	
奈良	664年	水城 築造	
	665年	大野城築造，基肄城築造	
	709年	観世音寺建立	
	710年	平城京へ遷都	
	712年	「古事記」できる	
720年	「日本書紀」できる	<p>塔ノ尾遺跡の火葬墓が 築造される</p> <p>774年 大野城に四天王寺を建立</p>	

神領古墳出土の内行花文鏡

観音浦古墳群/蜻蛉形鞘金具

大野城跡の百間石垣

平 安	794年	平安京へ遷都	
	901年	菅原道真, 太宰府へ流される	
	1141年	四王寺山に経塚が盛んに造られる 宇美八幡宮で近衛天皇の安産祈願	 宇美八幡宮
鎌 倉	1185年	鎌倉幕府成立	
	1205年	宇美八幡宮, 石清水八幡宮の社領となる	
	1274年	元軍, 博多に上陸 (文永の役) 筥崎宮, 御神体を宇美の極楽寺に移す	
	1281年	元軍, 博多に迫る (弘安の役)	
南 北 朝	1333年	鎌倉幕府滅亡	
	1336年	多々良浜の戦い 室町幕府成立	 表田・世利口遺跡出土の中国産陶磁器
室 町	1392年	足利義満 南北朝合一	
	1467年	応仁の乱 塔ノ尾遺跡土墳墓が作られる	八反田遺跡 表田・世利口遺跡 上角遺跡
	1551年	筑前守護代杉興運, 高取居城をでる	一滴遺跡 (障子岳区にある山寺跡)
	1571年	立花道雪, 立花城主となる	
	1573年	室町幕府滅亡	 正楽遺跡
安 土 ・ 桃 山	1574年	神武秀宗 井野山に賀良山城を築城	
	1578年	宇美の武士 矢野氏・神武氏 立花道雪勢と障子岳で戦う	頭巾山城 (頭巾山), 鬼杉城 (砥石山) 築城
	1586年	岩屋城の戦い 高橋紹運戦死	
	1586年	豊臣秀吉九州出兵 高取居城 (岳城) 落城	
	1600年	関ヶ原の戦い 黒田長政, 筑前に入る	

江戸	1603年	江戸幕府成立
	1706年	宇美八幡宮に聖母宮を建て神功皇后像を安置する
	1710年	筑前続風土記（貝原益軒著）
	1793年	萬代酒造開業
	1812年	伊能忠敬 宇美を測量
	1863年	文久の政変により, 三条実美らが長州へ逃れる(七卿都落ち)
	1866年	三条実美ら宇美の萬代竹亭へ来訪
明治	1868年	明治維新
	1872年	宇美小学校完成
	1873年	筑前竹槍一揆
	1886年	宇美八幡宮社殿造営
	1889年	宇美・炭焼・四王寺・井野が合併し宇美村となる
	1905年	博多湾鉄道宇美駅開設（香椎線）
大正	1919年	筑前参宮鉄道宇美駅開設（勝田線）
	1920年	宇美村から宇美町になる
	1938年	三菱勝田鉱業所創立
昭和	1940年	四王寺出土の経筒ほか, 19点重要文化財指定
	1941年	太平洋戦争始まる（12月）
	1942年	博多湾鉄道と参宮鉄道が西鉄と合併する
	1944年	博多湾鉄道と参宮鉄道を国鉄が買収
	1945年	太平洋戦争終わる（8月）
	1985年	勝田線廃線（4月）
平成	2000年	宇美町町制80周年
		 <p>昭和初期頃の博多湾鉄道(香椎線)</p>